

0118

平極秘

海軍機密第三五六〇號ノ二

昭和十八年十月六日

十月三日送付

特殊漁船昭榮丸戦闘詳報

横須賀海軍守府

1

18.10.22

一、九月一日空襲迄、南島島附近ノ敵情

二、任 務

三、經 過

四、戰 果 及 被 害

五、功 績

六、參 考

(イ) 所 見

(ロ) 船 員 名 簿

(ハ) 船 隻 要 目

一 目

次

六

枚

(目次終)

特殊漁船昭榮丸戦闘詳報

一、九月一日空襲迄ノ南鳥島附近ノ敵情

八月二十七日一五一五南鳥島警備隊見張員敵潜水艦搭載機ノ飛行中
ヲ發見シ同隊ハ直ニ飛行機ヲ以テ索敵偵察ヒシモ敵潜水艦ヲ發見ヒ
ズ

之ニ依リ敵潜水艦ガ南鳥島ヲ偵察監視中ナルヲ察知セルモ右ノ外空
襲迄特異ノ點ヲ認メズ

二、任 務

軍務一機密第一〇二號ニ依ル特殊漁船第三十八次出動船トシテ八月
二十五日横須賀出港同月三十日指定哨漁區(〇區)着爾後漁業ヲ兼ネ
海上監視通信ニ従事シ九月二日一四三〇本府ノ命ニ依リ第十五號事
代丸(九月一日〇四三五北緯二五度〇分東經一五四度〇分ノ地點ニ
於テ敵機ト交戦沈没ノ疑アリ)搜索行動中

三、經 過

0210

(イ) 經過摘要

九月四日〇五五〇（天候半晴、東風三米、視界良好）見張警戒ヲ
 嚴ニシツツ針路南南西速力八節ニテ第十五號專代丸ヲ搜索行動中
 北緯二五度一〇分東經一五四度〇分ノ地點ニ於テ楫方向約一五〇
 〇米ニ白煙噴出セルヲ認メ或ハ敵潜水艦ノ存在ナルヲ考慮シ直
 ニ船長ハ全員ヲ戦闘部署ニ就カシメ一層警戒ヲ嚴ニシツツ全速力
 トナシ該地點約八〇〇米ニ近接ヒシニ白煙ハ消滅ヒリ尙同方向ニ
 進行シツツ嚴重監視ヒシニ救命浮標ニ三名乘リ漂流中ナルヲ認メ
 次第ニ之ニ近接ヒシニ外國人ナルヲ確認セルヲ以テ或ハ敵米國飛
 行機搭乗員ニ非ズヤノ疑アリシニ依リ附近ヲ機銃、小銃ニテ威嚇
 射撃ヲ行ヒツツ除々ニ近接ヒシニ彼ハ双手ヲ舉ゲ反意ナク救助ヲ
 求ムルノ態度ヲナスヲ以テ本船ニ收容ヒシニ米國飛行機搭乗員ナ
 リシヲ以テ之ヲ俘虜トナシ直ニ武裝解除双手ヲ後方ニ捕縛目隠ヲ
 ナシ監視人ヲ附シ此ノ旨本府ニ報告爾後命ニ依リ南鳥島ニ急行同

日一三〇〇着同島海軍警備隊ニ引渡シ再ビ第十五號專代丸搜索任
務ニ從事ヒリ

(回) 俘虜收容時ノ狀況圖

別紙第一ノ通

(ハ) 發信文

別紙第二ノ通

四 戰果及被害

(イ) 戰果

敵米國飛行機搭乗員三名(大尉コンデイトジエームスウキロビイ一等
機關士コールペリーケネスオスカー) 二等ラジオ電信員マーシャルゴードン
ヘンリ)ヲ俘虜所持品全部鹵獲ス

(ロ) 被害

(一) 船体、兵器、機關 異狀ナシ

(二) 戦死傷者 ナシ

功績

米國飛行機搭乗員三名ヲ捕虜ヒシハ極メテ適切ナル處置ニシテ之ニ依リ貴重ナル資料ヲ入手シ作戰ニ寄與スル處勢カラザルモノアルヲ認ム

六 參 考

(イ) 所 見

ナ シ

(ロ) 船員名簿

別紙第三ノ通

(ハ) 船ノ要目

農林省徵備船（横須賀鐵守府指揮下特殊漁船）

木製一二九、三四噸 速度 九節

搭載兵器

麻式機銃 一挺
三八式小銃 三挺

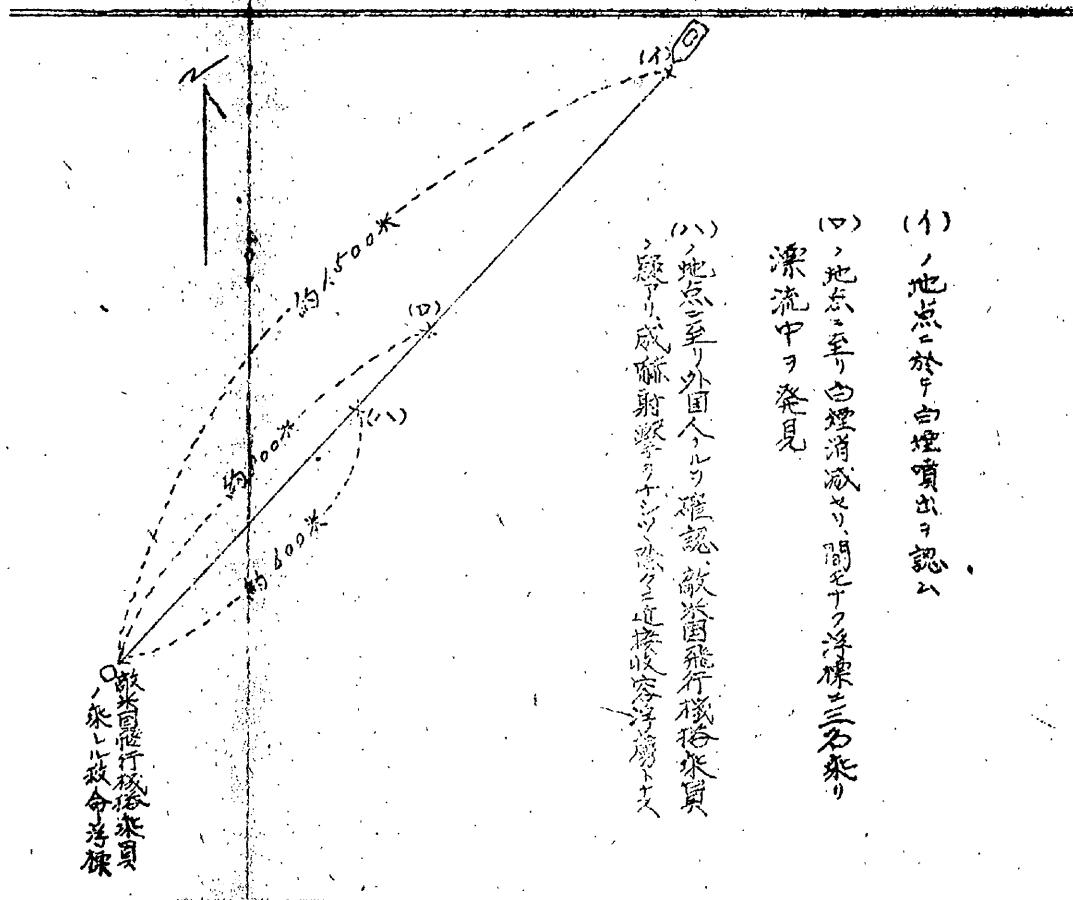
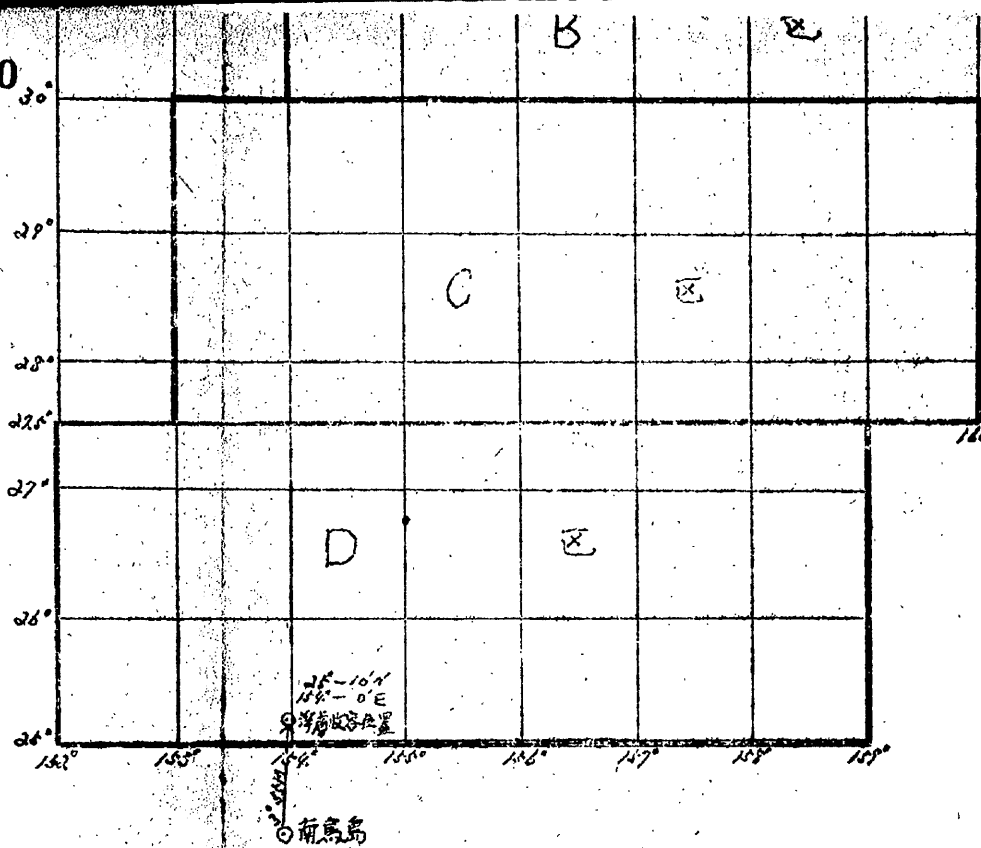
（終）

01紙第一

浮虜收容時ノ状況圖

(海軍第八号上向尺度)

0124



- (イ) 地点ニ至リ外國人、ルヲ確認、敵機墜行機格来員ノ疑アリ、威嚇射撃ヲナシ、ホクニ近接收容浮虜トス
- (ロ) 地点ニ至リ白煙消滅シ、間ミテ浮標ニ名来リ漂流中ヲ發見
- (ハ) 地点ニ於テ白煙噴出ヲ認ム

發日	時	受日	宛(通報)	時	通	信	文	種	別
九月二日	一四〇	九月二日	一四三〇	〇	昭	榮	丸	無	電
九月二日	一六〇〇	九月二日	一七一〇	〇	昭	榮	丸	無	電
九月四日	〇六四四	九月四日	〇六四八		昭	榮	丸	無	電
九月四日	〇七〇九	九月四日	〇七一一	三	昭	榮	丸	無	電
九月四日	〇七三〇	九月四日	〇八〇四		昭	榮	丸	無	電
九月四日	一〇五六	九月四日	一一〇三		昭	榮	丸	無	電
九月五日	一七〇〇	九月五日	一八四〇		昭	榮	丸	無	電
九月六日	一八〇〇	九月六日	一九五八		昭	榮	丸	無	電
九月八日	〇五〇〇	九月八日	〇五四五		昭	榮	丸	無	電

其ノ機ノ變アルニ由リ北ノ北四十二度附近ヲ
 直ニ第十五事代丸搜索ニ向フ
 敵飛行機搭乗員三名俘虜ニス如何ニスベ
 キカスグ返
 南鳥島ニ送レ
 四日一三〇〇南鳥島ニ着ク豫定
 俘虜ニハ重要地點ニ於テハ目隠ヲナシ
 終日搜索スルモ第十五事代丸ノ手掛ナシ
 早朝ヨリ搜索スルモ更ニ手掛ナシ
 第十五事代丸搜索見込ミナク今朝ヨリ
 操業ニ就ク

船員名簿

同	同	同	舵夫	水夫長	同	無線通信士	機關長	運轉士	船長
高塚政治	高塚甚平	山本定吉	池田藤作	高塚健一	鈴木淺一	高塚忠財茂	澤田庄作	高塚紋次郎	高塚傳一
同	同	同	同	同	甲板員	同	同	同	操機手
高塚紋十	高塚淺平	増田・善一	増田幸一	増田彦一	池田勝一	山本豊吉	松下春夫	栗林甲子夫	高塚源一

0127

同	同	同	同	同	同	同	甲板員
池田作一	松井富吉	栗林徳太郎	増田重一	寺田源作	高塚藤太郎	池田寅一	廣畑勝一
同	同	同	同	同	同	同	甲板員
高塚一郎	山本英男	澤田杉男	高塚倉次	栗林亨一	高塚榮太郎	池谷吉藏	

俘虜名簿 (昭 榮 丸)

氏 名	<i>Condit James Willoughby</i> コンデイト, ジェームス, ウィロビー	氏 名	<i>Kalery Kenneth Oscar</i> コールベリー, ケネス, オスカー
身分又ハ階 級	大 尉	身分又ハ階 級	一 等 機 關 士
本 國	米 國	本 國	米 國
所 屬 部 隊	第 五 雷 撃 中 隊	所 屬 部 隊	第 五 雷 撃 中 隊
負傷年月日		負傷年月日	
其ノ他	年 齡 28 才	其ノ他	年 齡 22 才
氏 名	<i>Marshall Gordon Henry</i> マーシャル, ゴードン, ヘンリー		
身分又ハ階 級	二等ラジオ電信員		
本 國	米 國		
所 屬 部 隊	第 五 雷 撃 中 隊		
負傷年月日			
其ノ他	年 齡 30 才		

0128

軍務一機密第一〇二號

昭和十七年二月十二日

海軍省軍務局長

大本營海軍參謀部第一部長

第五	第四	第三	第二	第一
艦隊	艦隊	艦隊	聯合艦隊	橫須賀鎮守府
參謀長	參謀長	參謀長	參謀長	參謀長
殿	殿	殿	殿	殿

短波無線電信機ヲ有スル鯉鮪漁船ヲ

漁船ヲ兼テ監視任務ニ充當ノ件申進

首題ノ件別紙ニ依リ實施ノコトニ定メラレタルニ付關係事項ハ左記ニ
基キ處理相成度

記

一 橫須賀鎮守府ハ本任務ニ充當スベキ漁船ニ對スル全般的指導統制ニ

0129

任ジ出勤漁船ニ對シ所要ノ指示ヲ與フルト美ニ關係事項ヲ第四、第
五艦隊ニ通報ス

三、第四、第五艦隊ハ漁船ノ監視任務ニ關シ必要アル事項ニ就キ横須賀
鎮守府ニ協議ノ上極力之ガ利用ヲ圖ル

(別紙添)

(終)

別紙

本州東方太平洋上ニ配備スベキ特設監視艇ニ關シ第五艦隊ハ最小限一
二〇隻ヲ必要トスル旨要求シアル處既ニ漁船徵備餘力ナキ現狀ニ鑑ミ
此ノ方面ニ九〇隻ヲ配當スルコトニ定メラレタリ
右特設監視艇ノ補助トシテ太平洋方面ニ出漁スル雙頭船中短波無線電
信機ヲ有スルモノ二十九隻ハ概ネ東經一六〇度線附近ニ出漁スニ對
シ海軍ヨリ燃料ヲ支給シテ其ノ行動ヲ規正シ洋上監視力ヲ增強スルト
共ニ兼テ水産食糧増産ニ寄與スルヲ適當ト認メ左ニ依リ實施ス
△、交付スベキ燃料

重油年額四、〇〇〇屯以内

差當リ第一回四半期分トシテ一、〇〇〇屯以内ヲ交付シ其ノ成果ニ
應ジ爾後ノ交付額等ヲ決定スルコトトス

(說明)

使用船二十九隻ノ一年間所要燃料約五、〇〇〇屯中配給燃料一、

〇〇〇屯ヲ控除セル額ヲ海軍ヨリ交付スルコトトス
 二、配備地點

北緯三五度東經一六〇度ノ點ヨリ南鳥島ニ至ル間（約六〇〇浬長）
 ヲ四等分シ北方ヨリA B C D哨漁區トシ各區ニ概ネ三隻宛在ラシム
 ル如クス

三、出動基地

石ノ巻、三崎、清水

四、行動要領

使用船ヲ三組ニ分チ十日間隔ヲ以テ出動セシメ指定配備點ニ至リ約
 一月後（概ネ漁獲物滿船スルモノト豫想ス）基地ニ歸着スルモノト
 シ此ノ間適宜正午位置ヲ關係海軍部隊ニ電報セシム

敵艦敵機ヲ發見セバ船舶防空監視心得ニ依リ發電セシム

五、監視員

船長及所要船員ヲ以テ編成シ之等人員ニ對シ豫メ講習ヲ實施スルト

共ニ艦型圖、飛行機路圖ヲ交付ス

右講習ノ成果ニ依リテハ各船ニ下士官兵一名宛乗船セシムルコトアルベシ

監視員一名ハ漁撈中ト雖モ當時見張ニ専念セシム

六、漁獲物ノ處理

農林省ニ一任スルモ海軍ノ必要量ハ優先取得ス（増産豫想高額約三〇〇万貫）

（終）